

2017 度版

環境活動レポート

運用期間(2017年7月1日～2018年6月30日)



株式会社 インター電子部品

2018年8月7日発行

1. 事業の概要

(1)会社名 株式会社インター電子部品

(2)代表者名 代表取締役社長 久保龍也

(3)所在地 本社 〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1610-16

(4)事業所

本社 〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1610-16

大宮営業所 〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町603-1-201

西日本営業所 〒491-0859 愛知県一宮市本町 2-2-11

東京営業所 〒101-0043 東京都千代田区神田富山町 28 番地 田澤神田ビル 2 階

(5)環境管理責任者 営業部 池澤克友

(6)連絡先 電話 028-648-6767

FAX 028-648-6490

E-mail y_ikezawa@inter-dennshi.co.jp

(7)事業活動 半導体製品及び関連製品の設計開発と販売

(8)事業の規模 2017 年度(2017 年 7 月～2018 年 6 月)

資本金 3,000 万円

製品売上高 11 億 8 千万円

従業員数 13 名

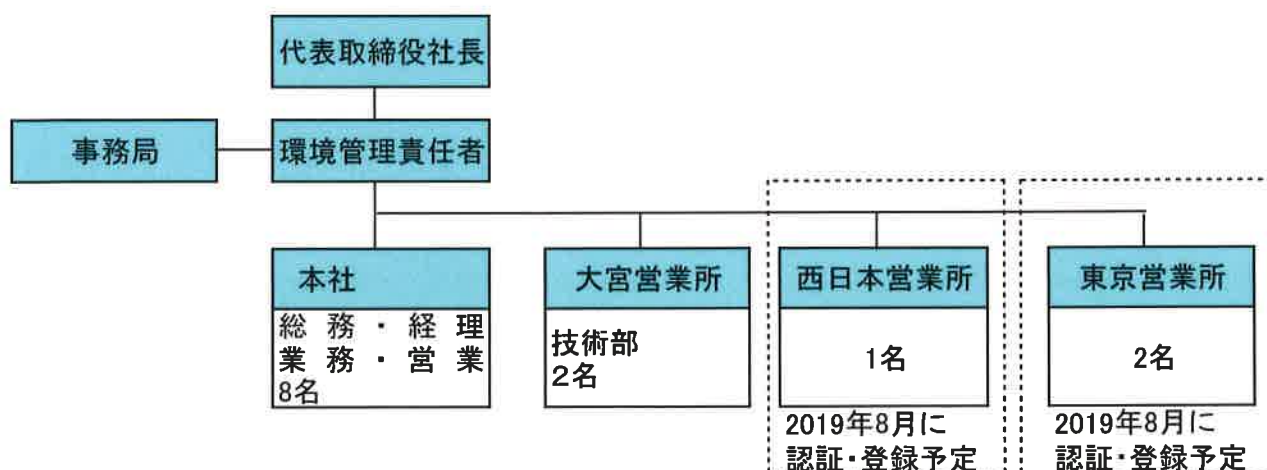
敷地面積 341.57 m²

(9)対象範囲

事業所:本社、大宮営業所

事業内容:半導体製品及び関連製品の設計開発と販売

2.会社組織図



3. 環境方針

環境方針

当社は電子部品、及びそのシステムを販売する商社として、事業活動において、地球環境問題の取組みを社会的責務と認識し、環境負荷の低減、環境改善に貢献する商品の提案を重要課題として、環境経営システムを下記のように取り組んでいくことを宣言します。

- 1、環境経営システムを継続的に改善します。
- 2、環境関連法規、条例及び当社が同意した事項を遵守します。
- 3、次の項目を重点活動項目と定め、事業活動の環境負荷及び、当社製品・サービスの利用者の環境負荷の低減を推進します。
 - 電気・ガス・燃料等のエネルギー、及び水の使用量を低減します。
 - 廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底し、再資源化を推進します。
 - グリーン調達を推進します。
 - 省エネを達成することを可能にする商品を社会に提案していきます。
- 4、環境方針を社員全員へ周知徹底の上、社員一人一人が責任を持って環境経営システムに取り組んでいきます。

制定日 2009年 2月 25日
株式会社 インター電子部品
代表取締役 久保 龍也

4. 環境目標

当社の環境目標は、本社と大宮営業所(2012年度活動開始)を区分して環境目標を設定した。環境目標は二酸化炭素排出量(電気使用量、ガソリン使用量)の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、グリーン調達、省力化製品の拡販、環境に配慮した設計、BCP(事業継続計画)の構築・運用です。

年度				パートⅢ			
				2014年度 (2014年7月～2015年6月)	2015年度 (2015年7月～2016年6月)	2016年度 (2016年7月～2017年6月)	2017年度 (2017年7月～2018年6月)
目標項目				(基準値)			
1. エネルギー使用量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で3%削減する。)	電気使用量	Kwh	本社	18,680	18,493	18,306	18,120
			大宮営業所	5,521	5,466	5,411	5,355
			合計	24,201	23,959	23,717	23,475
				99%	98%	97%	
	ガソリン使用量	L	本社	7,005	6,935	6,865	6,795
			大宮営業所	364	360	357	353
合計			7,369	7,295	7,222	7,148	
			99%	98%	97%		
2. 二酸化炭素排出量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で3%削減する。) :CO2排出係数=0.378	電気使用量 ガソリン使用量	kg-CO2	本社	25,030	24,780	24,529	24,279
			大宮営業所	2,932	2,903	2,873	2,844
			合計	27,962	27,682	27,403	27,123
						99%	98%
3. 廃棄物の排出量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で6%削減する。)	廃棄物	kg	本社	575	564	552	541
			大宮営業所	29.5	28.9	28.3	27.7
			合計	604.5	592.9	580.3	568.7
						98%	96%
4. 水使用量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で3%削減する。)	上水使用量	m3	本社	63	62	62	61
			大宮営業所	38	38	37	37
			合計	101	100	99	98
						98%	96%
5. グリーン調達を推進する	件数		本社	グリーン製品の調達	→	→	→
6. 省電力機器への製品拡販	件数	件	本社	16	17	18	19
7. 設計・開発(環境に配慮した設計)			大宮営業所	省エネに対応した部品、設計	→	→	→
8. BCP(事業継続計画)の構築と運用			本社 大宮営業所	BCP構築	BCPの運用と改善活動	→	→

5. 活動の実績

年度 目標項目			サイト	環境目標達成状況				
				2014年度 (基準値)	(2017年7月～2018年6月)			
					2017年度目標と実績			
					目標(A)	実績(B)	目標との差異 (B-A)	評価
1. エネルギー使用量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で3%削減する。)	電気使用量	Kwh	本社	18,680	18,120	17,784	-336	○
			大宮営業所	5,521	5,355	6,581	1,226	×
			合計	24,201	23,475	24,365	890	×
	ガソリン使用量	L	本社	7,005	6,795	7,189	394	×
			大宮営業所	364	353	146	-207	○
			合計	7,369	7,148	7,335	187	×
2. 二酸化炭素排出量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で3%削減する。) :CO2排出係数=0.378	電気使用量 ガソリン使用量	kg-CO2	本社	25,030	24,279	23,461	-818	○
			大宮営業所	2,932	2,844	2,827	-17	○
			合計	27,962	27,123	26,288	-835	○
3. 廃棄物の排出量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で6%削減する。)	廃棄物	kg	本社	575	541	587	46	×
			大宮営業所	29.5	27.7	54.9	27	×
			合計	604.5	568.7	642.1	73	×
4. 水使用量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で3%削減する。)	上水使用量	m3	本社	63	61	63	2	×
			大宮営業所	38	37	37	0	○
			合計	101	98	100	2	×
5. グリーン調達を推進する	件数	件	本社	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入		○
6. 省電力機器への製品拡販	件数	件	本社	16	19	19	0	○
7. 設計・開発(環境に配慮した設計)			大宮営業所	省エネに対応した部品、設計	省エネに対応した部品、設計	省エネに対応した部品、設計		○
8. BCP(事業継続計画)の構築と運用			本社 大宮営業所	BCP構築	BCP構築	BCP構築		○

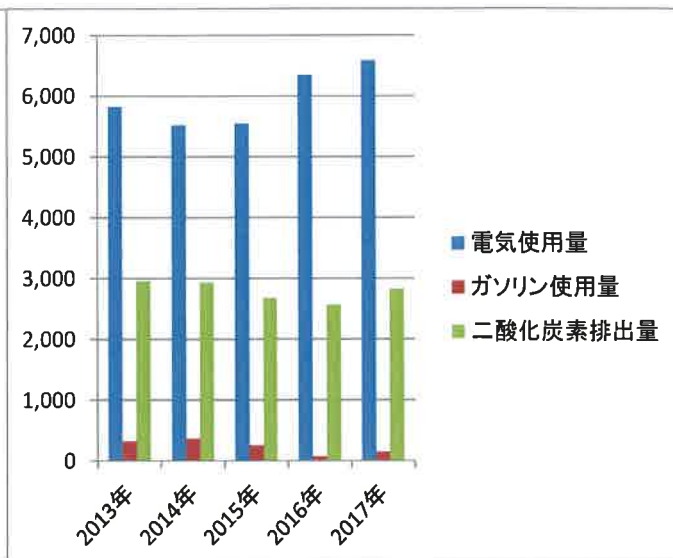
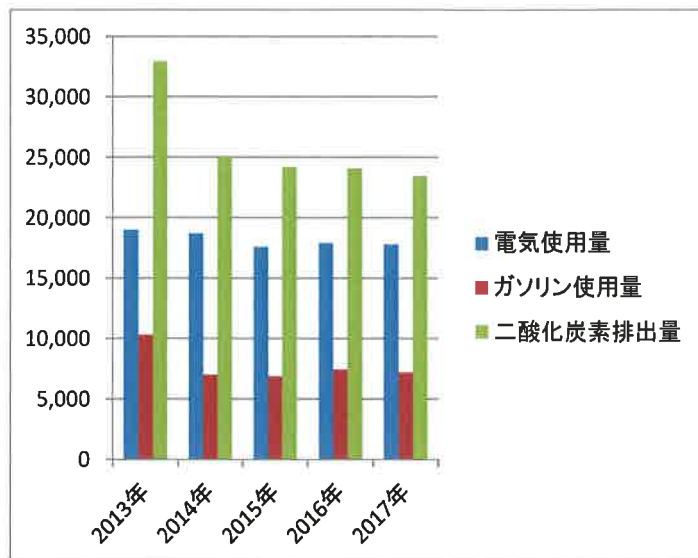
6. 環境目標に対する実績推移

本社

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
電気使用量	19,008	18,680	17,579	17,910	17,784
ガソリン使用量	10,301	7,005	6,867	7,437	7,189
二酸化炭素排出量	32,944	25,030	24,200	24,090	23,461

大宮営業所

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
電気使用量	5,821	5,521	5,544	6,348	6,581
ガソリン使用量	323	364	250	71	146
二酸化炭素排出量	2,950	2,932	2,676	2,564	2,827



7. 主な活動計画の内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減(電気使用量・ガソリン使用量)

1) 電気使用量の削減

① エアコンの温度管理(夏:28℃、冬:22度)

・夏は、昼光を極力遮断し、冷房効果を高める。冬は、昼光を積極的に取り入れる。

② ウォームビス、クールビスの推進

③ 人があまりいない場所の蛍光灯台数を減らす。空室・昼休み時の消灯の徹底

④ OA機器の節電対策(OA機器の節電モード)

2) ガソリン使用量の削減

① エコドライブ

② 走行ルート最適化、不要な積荷をしない。

③ 営業車のハイブリッド化

(2) 廃棄物の排出量の削減

① 廃コピー用紙の削減(裏紙の使用)

② 廃ダンボールの削減(梱包資材としての再利用)

③ 生活ゴミの削減

④ 新聞紙をクッション材として使用

(3) 水使用量の削減

① トイレの流水量の調整と節水に努める。

② 節水型トイレに変更

- (4) グリーン調達の推進（本社）
- ① グリーン製品の調達を増やしていく。
 - ② 購入品の製品含有化学物質の管理(ROHS 指令)
- (5) 省力化製品の拡販（本社）
- ① 省力化製品(IGBT、LED 等の低損失半導体の拡販)の拡販
- (6) 環境に配慮した部品選定、設計を考慮する。
- (7) BCP(事業継続計画)の構築と運用
- ① 影響度調査レポート、リスク対策一覧表の作成と見直し。
 - ② 防災マニュアル・業務継続マニュアル・災害復旧マニュアルの運用と改善。
 - ③ 事業継続計画書を作成し、BCP の構築を推進。
 - ④ BCP の勉強会、防災訓練を実施する。

8. 環境活動の取組み結果・評価と次年度の計画

目標項目	年度		サイト	環境目標達成状況					是正措置	取組結果の評価	次年度の計画
				2014年度 (基準値)	(2017年7月～2018年6月)						
					目標(A)	実績(B)	目標との差異(B-A)	評価			
1. エネルギー使用量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で3%削減する。)	電気使用量	Kwh	本社	18,680	18,120	17,784	-336	○	NO 01 大宮 NO 01 本社	・営業活動が活発になってきたが本社は省エネ、節電効果が出て電気使用量が減ったがガソリン使用量が増えた。大宮営業所は電気使用量は増えたが、ガソリン使用量は大幅に減った。	・節電活動の継続 ・エコドライブの推進 ・ガソリン使用量を提示
			大宮営業所	5,521	5,355	6,581	1,226	×			
			合計	24,201	23,475	24,365	890	×			
	ガソリン使用量	L	本社	7,005	6,795	7,189	394	×			
			大宮営業所	364	353	146	-207	○			
			合計	7,369	7,148	7,335	187	×			
2. 二酸化炭素排出量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で3%削減する。):CO2排出係数=0.378	電気使用量 ガソリン使用量	kg-CO2	本社	25,030	24,279	23,461	-818	○			
			大宮営業所	2,932	2,844	2,827	-17	○			
			合計	27,962	27,123	26,288	-835	○			
3. 廃棄物の排出量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で6%削減する。)	廃棄物	kg	本社	575	541	587	46	×	NO 02 本社	購入資材、販売資材が増えて廃棄物排出量が増えました。	・ダンボール、クッション資材の適正管理 ・カタログ、その他の紙類管理
			大宮営業所	295	277	54.9	27	×	NO 02 大宮		
			合計	604.5	568.7	642.1	73	×			
4. 水使用量の削減 (2017年度までに、2014年度対比で3%削減する。)	上水使用量	m3	本社	63	61	63	2	×	NO 03 本社	・節水活動を続けているが環境目標が厳しくなってきたため、使用量が減っていない	・節水活動の継続
			大宮営業所	38	37	37	0	○			
			合計	101	98	100	2	×			
5. グリーン調達を推進する	件数	件	本社	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入		○		グリーン調達品の増加	グリーン調達の継続
6. 省電力機器への製品拡販	件数	件	本社	16	19	19	0	○		・省電力機器への製品拡販を展開した	・省電力機器への製品拡販を継続する
7. 設計・開発(環境に配慮した設計)			大宮営業所	省エネに対応した部品、設計	省エネに対応した部品、設計	省エネに対応した部品、設計		○		・省エネに対応した部品、設計の継続	・省エネに対応した部品、設計の継続
8. BCP(事業継続計画)の構築と運用			本社 大宮営業所	BCP構築	BCP構築	BCP構築		○		・災害復旧時の役割確認・緊急リスト作成 ・防災マニュアルの運用 ・災害復旧マニュアルの運用	・事業継続計画の運用と改善

9. 環境整備と地域との共存

(1) 環境美化の一環として社屋周囲の除草、清掃を実施

(2) 降雪時に社屋周辺道路の雪かき実施

10. 2018年度以降の中期長期環境目標

年度				パートⅣ				
				2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
				(2017年7月～ 2018年6月)	(2018年7月～ 2019年6月)	(2019年7月～ 2020年6月)	(2020年7月～ 2021年6月)	
目標項目				(基準値)				
1. エネルギー使用量の削減 (2019年度までに、2016年度対比で3%削減する。)	電気使用量	Kwh	本社	17784	17606	17428	17250	
			大宮営業所	6581	6515	6449	6384	
			合計	24365	24121	23878	23634	
				99%	98%	97%		
	ガソリン使用量	L	本社	7189	7117	7045	6973	
			大宮営業所	146	145	143	142	
			合計	7335	7262	7188	7115	
				99%	98%	97%		
	2. 二酸化炭素排出量の削減 (2019年度までに、2016年度対比で3%削減する。) :CO2排出係数=0.378	電気使用量 ガソリン使用量	kg-CO2	本社	23461	23226	22992	22757
				大宮営業所	2827	2799	2770	2742
合計				26288	26025	25762	25499	
					99%	98%	97%	
3. 廃棄物の排出量の削減 (2019年度までに、2016年度対比で6%削減する。)	廃棄物	kg	本社	587	575	564	552	
			大宮営業所	55	54	53	52	
			合計	642	629	616	603	
					98%	96%	94%	
4. 水使用量の削減 (2019年度までに、2016年度対比で3%削減する。)	上水使用量	m3	本社	63	62	62	61	
			大宮営業所	37	37	36	36	
			合計	100	99	98	97	
					99%	98%	97%	
5. グリーン調達を推進する	件数		本社	グリーン製品の調達	→	→	→	
6. 省電力機器への製品拡販	件数	件	本社	19	20	21	23	
7. 設計・開発(環境に配慮した設計)			大宮営業所	省エネに対応した部品、設計	→	→	→	
8. BCP(事業継続計画)の構築と運用			本社 大宮営業所	BCP構築	→	→	→	

11. 代表者による全体評価と見直し

- 1、環境方針、環境目標は変更しない。
- 2、本社の電気使用量、大宮営業所のガソリン使用量、水使用量が大幅に改善され環境目標を達成し大変良い結果である。
- 3、本社、大宮営業所共に二酸化炭素排出量が年々削減され削減目標を達成してきているので社員一同更に努力する様に周知徹底。
- 4、環境目標は年々厳しくなっているが省エネ、節電活動への従業員の意識が高まってきており、今後の良い成果に期待する。
- 5、営業活動が活発になり、廃棄物排出量が増えているので削減目標達成に更に各自努力する事を期待する。
- 6、環境整備、地域との共存を意識し環境美化を推進する。
- 7、BCP(事業継続計画)の運用と改善を更に進める。

12. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

- (1) 2018年8月7日に環境関連法規の遵守状況の確認・評価を行った結果、環境関連法規等の違反はありませんでした。
- (2) 関係当局よりの違反などの指摘は、過去4年間ありません。又、訴訟等もありません。

関連法規	要求事項			遵守状況
	対象サイト	設備・業務等	要求内容	
廃棄物の処理及び清掃に関する法規	本社 大宮営業所	一般廃棄物:廃紙類・その他の生活ごみ 産業廃棄物:廃棄する半導体製品及び関連製品	一般廃棄物処理業者の委託契約書 産業廃棄物の収集運搬・処理業者との委託契約書 産業廃棄物管理票の管理	適合
浄化槽法	本社	町内会共同使用浄化槽	保守点検成績書(1回/年)	適合
リサイクル法(資源有効利用促進法)	本社 大宮営業所	パソコン、小型2次電池	廃棄時の管理	適合
家電リサイクル法	本社 大宮営業所	冷蔵庫・エアコン	廃棄時の電気店引き渡しの管理	適合
自動車リサイクル法	本社 大宮営業所	業務用社用車	買い替え時の自動車業者引き渡し管理	適合
グリーン購入法	本社	文具・梱包材等	エコマーク製品の選定購入	適合
顧客その他要求事項	本社	製品含有化学物質管理	ROHS 適合品	適合